平成２６年度　事務事業評価シート

章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	Ⅱ	海外との交流の場と機会の拡大
目標		国際交流に積極的に取り組むとともに、市民意識の高揚を図る。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	外国人との交流の場における市民参加者数	人	1,543	2,091	2,942	2,905	2,642	2,048	－	2,500

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　地域国際化の推進	①　国際交流の推進	・海外の地方自治体等の職員の受け入れや外国青年等を招致するなど、自治体の国際化施策等への協力を通じて、地域の国際化を推進します。 ・国際交流団体が受け入れる研修生に対し、支援していきます。 ・東アジア諸国から観光客の誘致を促進するため、友好交流促進都市の中国「広州市」をはじめ、主要都市との連携を強化します。 ・友好都市のデンマーク「ファボー・ミドフュン市」やアメリカ合衆国北マリアナ諸島「サイパン市」と人的・文化的な交流を推進します。
1-②	1　地域国際化の推進	②　外国人が快適に滞在しやすいまちづくり	・近年、外国人観光客の増加が顕著となっており、特に韓国や台湾の東アジア地域が目立っています。今後は、外国人にわかりやすく情報提供し、快適に滞在しやすいまちづくりを進めるとともに、市民のホスピタリティ精神の醸成に努めます。
1-③	1　地域国際化の推進	③　国際性豊かな人材育成	・ALT（外国語指導助手）や外国からの研修生の受入れを積極的に行うとともに、次代を担う青少年が諸外国の生活や異文化に接する機会をより多く提供し、国際社会に対応できる市民を育成します。
1-④	1　地域国際化の推進	④　国際協力・貢献活動の推進	・国際交流団体の活動を助長し、国際的な理解を深めるとともに国際協力・貢献活動を奨励します。
1-⑤	1　地域国際化の推進	⑤　情報発信	・市や国際交流団体が実施する事業について、多くの市民が参加できるよう、情報発信します。

Plan ・ Do

事業概要

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-①	国際交流推進事業 62211002	総務部	企画調整G	H4	－	ソフト	一般会計	市民の国際理解を深めることにより、登別市における国際交流を推進することを目的とする。	H24	市民及び国際交流団体	国際交流推進団体等と連携し、国際理解を深めるための事業を実施するほか、友好都市協定を締結している海外都市との交流事業を実施した。 【主な事業実施内容】 国際交流推進団体による外国人研修生等受け入れに対する支援、国際交流推進団体との意見・情報交換会の実施、国際理解講座の開催（お国紹介、料理教室等を５回開催）・サイパン市中学生の受入及び交流（生徒７名・引率者２名が訪問）	ファボー・ミドフュン市との友好都市協定書（平成19年６月10日）、平成18年11月20日（サイパン市との友好都市提携同意書）、平成24年11月15日（広州市との友好都市協定）
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【主な事業実施内容】 国際交流推進団体による外国人研修生等受け入れに対する支援、国際交流推進団体との意見・情報交換会の実施、国際理解講座の開催（お国紹介、料理教室等を５回開催）	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり
2	1-①	友好都市等交流促進事業（緊急雇用創出推進事業） 62211006	総務部	企画調整G	H25	H25	ソフト	一般会計	国際交流団体に一定の活動支援をすることにより市民の国際理解の向上及び交流促進を図ることを目的とする。	H24	－	－	－
										H25	国際交流団体及び市民	友好都市等との交流事業の連絡調整等を行うとともに、国際交流に関するホームページのリニューアルや国際交流団体への活動支援を行った。	ファボー・ミドフュン市との友好都市協定書（平成19年６月10日）、平成18年11月20日（サイパン市との友好都市提携同意書）、平成24年11月15日（広州市との友好都市協定）
										H26	－	－	－
3	1-①	登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業 62213002	総務部	企画調整G	H24	－	ソフト	一般会計	登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流を深め、日本とは異なる生活や文化を体験させることにより、生徒の人間性を豊かにし彼らの将来に良好な影響を与えるとともに、ファボー・ミッドフュン市との更なる交流推進の一翼を担うことを目的とする。	H24	市内中学生等	ホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校と明日中等教育学校前期課程の生徒から希望者を市が公募し、友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣した。	・登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業実施要綱 ・（参考）平成19年６月10日　ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり

事業の成果、目標

指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標
講座等の参加者数	人	111	113	100	100	100	100
市民・児童生徒等の交流人数	人	2,244	1,375	2,000	2,000	2,000	2,000
国際理解講座の実施回数	回		5				
－	－	－	－	－	－	－	－
派遣生徒数（延べ人数）	人	9	18	27	36	45	54
－	－	－	－	－	－	－	－

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案
1	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		182	25	426	426	426	426
	合　計		182	25	426	426	426	426
2	国庫支出金							
	道支出金	緊急雇用創出推進事業補助金		2,261				
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	合　計		0	2,261	0	0	0	0
3	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	いきいき人とまち基金積立金繰入金	2,064	2,132	2,380	2,380	2,380	2,380
	一般財源		33	30	40	40	40	40
	合　計		2,097	2,162	2,420	2,420	2,420	2,420

		H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案
全会計　合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	2,261	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,064	2,132	2,380	2,380	2,380	2,380
	一般財源	215	55	466	466	466	466
	合計	2,279	4,448	2,846	2,846	2,846	2,846
一般会計　合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	2,261	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,064	2,132	2,380	2,380	2,380	2,380
	一般財源	215	55	466	466	466	466
	合計	2,279	4,448	2,846	2,846	2,846	2,846
	区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案

Check

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H24 以前：事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。 H25：平成24年度に中国広州市と友好都市協定を締結したことに伴い、交流の幅が広がることから、国際交流団体との意見・情報交換を行い、連携を強固にするとともに国際理解講座の内容の充実を図った。 H26：多くの市民の国際理解を図られるよう、国際理解講座の講師、対象者、内容等について、検討していく。	維持	友好都市提携に基づく海外都市との友好交流を推進するとともに、地域の国際理解を深めるため、国際交流団体と連携をしながら各種取組を進めていく必要がある。
2	H24 以前：登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業の見直し、広州市との友好都市協定の締結、市ホームページのリニューアル等に伴い、当市の国際交流事業の情報発信を強化する必要があり、緊急雇用創出推進事業の活用を検討した。 H25：緊急雇用創出推進事業を活用し、英語を話すことができる人材を雇用したことで、国際交流に関するホームページのリニューアルを行うことができた。 H26：－	維持（統合）	事業の実施により、市民の国際理解の向上や友好都市との交流促進などに資することから、今後も事業を継続することが妥当である。
3	H24 以前：派遣生徒数は、これまで市内中学校、明日中等教育学校から各１名とし学校の推薦により決定していたが、生徒の自発性を尊重し、積極的に参加する意思を持つ生徒への機会の拡充が図るため、生徒数を９名に増やし、公募制とした。 H25：事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。 H26：事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	国際性豊かな人材の育成や市民の国際理解の向上、また、には友好都市との交流促進などに資することから、今後も事業を継続することが妥当である。

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
1	事業の継続を図り、国際交流を推進することで、市民の国際理解を図っていく。
2	北海道の緊急雇用創出推進事業としての事業は終了したが、事業の必要性に変わりはないため、平成26年度より「国際交流推進事業」（622211002）に統合し、継続して取り組んでいく。
3	事業の継続を図り、友好都市であるファボー・ミッドフュン市との交流推進の一翼を担う人材育成に努めていく。